

地域おこし協力隊活動報告書 令和7年2月分



古家のぞみ

出身：千葉県市川市
趣味：編み物
着任日：令和5年4月（2年目）



@NFURUYA_08

活動内容：「解説指導員の会」と田平地区の活性化

- ①たばら昆虫自然園解説指導員の会での活動
- ②地域資源を活用したイベントなどの企画・実施
- ③田平町の情報発信（SNS）

園の解説案内等

朝晩の厳しい寒さが続いています。暖かい日中に活動を行う昆虫の様子が観察できるようになりました。県内外から虫好きの親子連れやキッズジョブチャレンジのため小学生が来園され、自然について楽しく学んでいただけるように解説案内を実施しました。2月も土日を中心に解説指導員の方と協力して園の解説案内を中心に活動しました。一般案内は12回、23名、団体を3件、14名対応しました。

皆さんは、「モズのはやにえ」という言葉を聞いたことがありますか？モズという鳥が、捕まえた虫やカエルなどを木の枝に刺したものを、「はやにえ」といいます。不気味に思うかもしれませんが、実はモズのオスにはある目的があります。はやにえを沢山食べることによって栄養状態がよくなり、歌を早口で歌うことができ、魅力的に感じたメスが求愛を受け入れてくれやすくなったという研究結果があります。

一見不気味に思える現象も、何の生き物がどのような習性で動いているのかを知ることで、来園者の強い興味に繋げることが出来ます。冬の生き物が少ない分、一つ一つの謎を解き明かすワクワク感を意識して解説案内を行いました。

また、2月もA3両面の解説指導員会報「虫ぶえ」の編集・発行・送付を行いました。現在指導員の会は22名の方が活動しています。そのうちガイドをしているのは、私を含めて10名です。ガイドをされていない方に向けて、解説案内



を実施する際の参考になるよう、園内で新しく見られた生き物の紹介をしました。1月に新しく見られた生き物はカスミサンショウウオの卵など6種類、引き続き見られる生き物はチャミノガなどの14種類を紹介しました。

また、今後会員の方がイベントをしたいと考えた際に活用できるような、イベントの企画から実行までの流れをまとめた資料の作成を行いました。

まち協等での活動



9日（日）に田平町民センターで実施された「田平まちフェス」では、親子3世代の交流を深める目的で、子ども育成部会が縁日を行いました。地域の子供たちにとって田平町の素敵な思い出が残り、ずっと住みたい町、戻りたい町として心に残すお手伝いをしました。また、まち協の活動を市民の方に広く知ってもらうことで、田平町をどう盛り上げるかを身近に考えられる機会になったと感じています。



16日（日）中部公民館で地域おこし協力隊の活動報告会が行われ、中部地区の齊藤隊員、紙漉きの里の園田隊員、地域コミュニティマネージャーの川上隊員、田平町の古家の4名が令和6年度の活動報告を行いました。

自分は2年目の活動報告を中心に、スライドでの発表を行いました。活動報告会でも触れましたが、令和6年度3月末をもって地域おこし協力隊を退任いたします。任期は残り僅かですが、活動報告会の資料をまとめる過程で、自分の活動に何が不足しているのか、何を引き継ぐことで今後の解説指導員の会の発展に貢献できるのかを、改めて見つめなおす機会になりました。



イベントの報告



15日（土）に田平町民センターで実施された「昆虫模型づくり」では、講師としてイベントを実施しました。4名の児童がチョウ・トンボ・カブトムシの中から好きな昆虫を選び、自分だけの昆虫模型を作成しました。昆虫の体の構造についての理解を深め、自然への興味を持つことで、田平町が自然の多い素敵な故郷として思い出に残る事を目的に実施しました。

今後のイベント

3月1日（土）に予定しています田平中央公民館主催の公民館講座では、講師として放課後児童クラブビートルに通う小学生を対象に「昆虫模型作り」を実施します。興味のある方の参加をお待ちしております。